

---

# こぼれ話

ビエンヤク

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

こぼれ話

### 【Nコード】

N0319X

### 【作者名】

ビエンヤク

### 【あらすじ】

今までに書いた作品から、気が向いたテーマでこちらに番外編を書きます。一部で再掲する場合があります。番外編という蛇足が好きでない方や、本編を見ていない方はご遠慮ください。





予告 raise1: カクセイキョウ WAKE UP

妖精のような衣装の少女に微笑みかけられて、イエルは慌てて目をそらす。

「もう一つの現実、ヴァーチャル・リアリティの最高峰、オンラインゲーム『レイズ・ザ・ワールド』へようこそ！」

露出が多すぎだろうと、イエルは心の中で呟くに止めた。

「目を覚ませ、人々よ」

いかにも仙人や教祖を名乗るのに相応しい、ひからびた様な男のアバターが訴える。

ヒナタにすれば、あなたが目をさましなさいよ、と言いたいところだ。

「覚醒教……VR教とも呼ばれる連中が、厄介な事にゲーム内部で増えている。

信教は自でいいと思うが、そこでは電子ドラッグが横行しているらしい。

今はゲーム内部でPKが多発する程度だが、放っておけば現実でも、いずれ、いや」

もう、被害が出ていてもおかしくない。

いかめしい顔をした竜人が怒りと合わせて飲み込んだ言葉に、ヒナタは心当たりがあった。

「私が潜入すれば、捜査はもっと確実に進められるよね」

「危険だっ、そんな事はさせられん」

「だからこそ、効果は高い。でしょ？」

「この世界の私に価値がなくなった分、せめてゲームでは誰かに必

要にされたいんだよ」

ヒナタの呟く言葉は、誰にも届かない。

人にさせない心の奥底に積もった言葉は、木枯らしだけが聞いていた。

「バツカじゃね、所詮ゲームだろ」

「ボクのような人間がちょっといじれば、形も価値も変る世界に、意味はあるのかな？」

「状況は最悪だ。今夜にでも、連中はしでかすぞ」

「もう一度言っておこう。」

もう【ストレイライン・ラン】は使わない事だ。

デザイナーのオレが、存在も知らず、使用禁止の書き込みも出来ない『何か』だ。

脳に多大な負荷ももかかる。次も無事とは、限らない」

「それでも！ もう一人の自分を殺されて、悲しくならぬわけないでしょっ！」

「一生懸命で何が悪い！ 必死になって何が悪い！！」

「私は、私の全てを賭けて戦うだけだっ！」

『世界を賭ける                    レイズ・ザ・ワールド』

raise1:                    カクセイキョウ WAKE UP

現実には劣らないバーチャル・リアリティが作れるけれど、法整備が行き届かない程度の未来。

二つの現実を舞台に、人々の思いが交錯する。

「私はただ、やっとできた居場所を守りたいの」

『……お前は、昔から危なっかしいな』

大きな手がヒナタの頭に乗せられて、優しく髪をかき回される。

もし見上げたら、涼介はいつもと同じように、心配そうに悲しくなるような笑顔をしているのかも知れない。

そんな顔を見たらきつと、自分の決心が鈍る。

だから日向は、この優しい手の温度だけに心を寄せる。今だけは、涼介の声が失われている事に感謝した。

そしてヒナタは思い出したように振り返って笑った。

「ゲーム、愉しんでね」

十一月四日から連載開始。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0319x/>

---

こぼれ話

2011年10月29日02時14分発行